

週 報

1987年10月18日 聖霊降臨節第20主日
信徒伝道週間(24日まで) 教育週間(25日まで)

巻 8 29号

1987年度教会主題

「世の光、イエスに従う」

わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみの
うちを歩くことがなく、命の光をもつてであろう。

ヨハネによる福音書8章12節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目 8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13994

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目 6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 **秋 吉 隆 雄**

のような存在」とする皇国史観に
立つ新国家主義である。中曽根政
権に嫌ひなければならぬほど、
彼を強くした政治状況が不気味で
ある。中曽根首相の強く、はっき
りした姿勢が受け入れられたと言
われるが、私には軍備拡大を進め
人権と福祉において、ことに弱い
立場の人々を切り捨ててきた政治
であったと思う。

次期総裁、日本の首相は新国家
主義的、また強権主義的な中曽根
政治の継承であってはならない。
日本の使命は15年戦争の苦い経
験から、あくまで世界平和への貢
献であるはずである。また権力に
追従する者を優先させる機構は若
者を無力化する。日本の持てる力
を無益な軍備や、土地と株式への
投機に用いずアジア、アフリカの
開発に、また福祉に回したら大声
で「愛国」と言わなくてもこの国
を真に愛するようになる。イエス
の福音は私と隣人の生が神によっ
て「絶対的に是認」されているの
だから共に生きよと求めている。

一牧師室から一

自民党の総裁選出は安部、竹下
宮沢の三候補者によって争われて
いる。日本の最高責任者になる人
が、我々国民から遠く、一部の代
議士たちの利害と駆引によって決
められていくのは、何ともおかし
く、悲しい。三候補者の政治理念
とその政策は、表現と力点は違
うがあまり大差が無いようだ。同じ
自民党なのでそれは当然だろう。
しかし、以前の三候補者は中曽根
政治とはニュアンスを違え、批判
的な人もいた。ここに来て、中曽
根政治を継承すると言っている。
話し合い調整の際、政権指名を有
利にしたいとの思惑は見え透いて
いる。中曽根首相のいう戦後政治
の総決算の内実は、天皇を「太陽